

令和 5年度 放課後等デイサービス事業所における事業所評価結果(公表)

のびのびの木

対象期間 令和5年1月1日～令和5年12月31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		スタッフから意見等	工夫している点、課題や改善すべき点など
			はい	いいえ		
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切ですか	86%	0%	14%	・適切である ・子どもたちの特性によってはもう少し広くても良いと感じるときがある	スペースは十分にあると考えています。パーティションや個室等を引き続き活用していきます。
	2 職員の配置数は適切ですか	71%	14%	14%	・適切である ・基準に準じたものと思います	今後も保育士や福祉資格、教員免許取得者などの有資格者を必要に応じて募集していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切ですか	86%	0%	14%	・1日の振り返りをする時間がある ・現在対象の子どもがいないので問題ないです	事業所内の設備は対象児に応じて配慮をしています。トイレの入り口に段差はありますが、現状では支障はないので、今後も必要に応じて対処していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画していますか	71%	29%	0%	・行事などで特に意識をしています	年間行事や月単位の療育メニュー等、計画の立案、実施、評価、改善という手順を踏んでいます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていますか	100%	0%	0%		保護者向け事業所評価を実施しています。軽微なことは日頃のやり取りの中で対処しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開していますか	86%	14%	0%		事業所ホームページで情報を更新する予定です。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげていますか	29%	57%	14%	・よくわかりません	現在のところ外部評価は行っていません。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保していますか	100%	0%	0%	・確保している ・事業所としても個人としても参加出来るように考慮してくれませ	県や関係機関・団体等で開催される研修は参加ができるように勤務等の調整を行っています。また、参加したスタッフから他のスタッフへ伝達研修を開き、全体の資質向上に努めています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画が作成されていますか	100%	0%	0%	・モニタリング、相談を丁寧におこなっている	保護者や関係機関、医療情報等を用いて情報や課題の整理を行い、放課後等デイサービス計画書を作成しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用していますか	100%	14%	0%		事業所で定めたアセスメントシートを用いて子どもの状況把握を行っています。
	11 活動プログラムの立案や実施をチームで行っていますか	71%	14%	14%	・行っています ・担当者が立案し、児発管が見直しをしています	月単位で担当者が活動計画書を作成し、全体で内容を確認しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫していますか	100%	0%	0%	・意見を出し合い決定をしている	基本活動は曜日ごとに特色を振り分け、毎日の活動メニューが固定化しないようにしています。また年度毎に特色をリニューアルしています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援していますか	86%	14%	0%	・個々の利用児による ・療育活動以外にもプログラミングやワークショップ、行事などが取り入れられている。	平日は療育の基本活動を主に休日(長期休暇)はそれに加えて教材を用いたプログラミングや特別活動盛り込んでいます。また休日(長期休暇)は社会体験活動や行事をも取り入れるようにしています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成していますか	100%	0%	0%		子どもの年齢やニーズに応じて個別と集団活動が利用できるように準備しています。
	15 支援開始前には職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認していますか	71%	14%	14%	・自分が何の役割か分からずに支援に入ってしまうことがある	当日の活動は担当者が出勤指導員へ伝達していますが不十分であれば打ち合わせの時間や方法を検討します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有していますか	86%	0%	14%		毎日夕礼にてその日の利用児の状況、支援の振り返りを行っています。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげていますか	86%	14%	0%		利用時の関りや、子どもの様子、サービス提供の内容等、記録をとっています。またそれら経過記録に基づいてモニタリング時に支援内容も検討しています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断していますか	100%	0%	0%		半年に1度(必要な場合はその都度)、保護者や必要に応じて関係機関にも出席してもらいモニタリングと今後のニーズの確認をしています。ケース担当からは子どもへの聴き取りを行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っていますか	86%	14%	0%		身辺自立や社会スキル、余暇の過ごし方、芸術・創作活動、社会資源の活用等、子供の将来の各場面での選択肢が幅広くなるよう努めて取り入れるようにしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画していますか	100%	0%	0%		サービス担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っていますか	100%	0%	0%	・必要時にすぐ連絡が取れるよう全ての利用児の学校の連絡先を表にして掲示している	学校や保護者によっては行事予定表をくださるので下校時刻の確認を行っています。下校や送迎時間の急な変更等は直接学校とやり取りをさせて頂くことがあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えていますか	86%	14%	0%		医療的なケアが必要な児童を受け入れる基準には該当しないため受け入れはしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めていますか	71%	29%	0%		主に相談支援事業所からの情報を頂いています。担当者会議には児発管が参加しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等していますか	86%	14%	0%	・本人にとってより良い暮らしを実現するために担当者の会議が行われている	学校を卒業し、福祉サービス事業所等へ移行する場合は支援が引き継がれるように、必要な会議に出席をしたり、保護者の同意を頂いてそれまでの支援の情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けていますか	71%	29%	0%	・よくわかりません	自立支援協議会の専門部会を通じて関係者による専門研修を受講しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか	14%	43%	43%		公立学校のお子さんがほとんどなため、特に児童クラブや児童館との交流は現状では行っていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加していますか	100%	0%	0%		積極的に参加するようにしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	100%	0%	0%	・連絡帳(必要時にはLINEにて)情報共有をこまめにしている	連絡ノートを通して、活動の様子や関わりの中での気付きを保護者に伝えていますが不十分な場合もあるため、その際は個別で連絡を取るようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っていますか	71%	29%	0%		保護者からの相談があれば、関わり方のアドバイスや対応について助言を行えるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか	100%	0%	0%		契約時に担当者から必ず説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	100%	0%	0%	・支援内容を職員間で共有している	子育ての困りごとやご家庭のご事情等、保護者からの相談は適宜担当者が対応しています。また希望に応じて事業所内相談を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援していますか	29%	43%	29%		実施していません。保護者からは賛否の意見があるため、今後必要があれば開催を検討致します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	100%	0%	0%		苦情は、定めに沿って苦情受付担当者が窓口になり対応しています。また、内容は事業所内で情報共有し、再発防止に努めているところです。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか	100%	0%	0%		四半期に1度の程度で事業所便りを保護者へお配りしています。
	35	個人情報に十分注意していますか	100%	0%	0%		「個人情報使用に関する同意書」に基づき取り扱っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていますか	100%	0%	0%	・表現方法などどうしたら伝わりやすいか職員間で話し合う	子どもの特性や情報内容に応じて、工夫をしています。保護者へはお忙しい方が多いので、口頭よりも後で確認を頂けるように必要に応じて文書等で情報を伝えるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っていますか	29%	57%	14%	・よくわかりません ・事業所の場所的にも近隣住人との接点がないので難しい	立地上、住民の方を招待する行事は開催していませんが、外部講師を招きワークショップは行うようにしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知していますか	100%	0%	0%		各マニュアルを整備しています。周知は十分とはいえない点があれば、職員会議等にて定期的に内容の確認を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	100%	0%	0%	・避難訓練を定期的に行っている	法令に定められた年3回の訓練以外にも火災、津波、地震等の設定で毎月実施するようにしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	100%	0%	0%		引き続き、研修を実施します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載していますか	100%	0%	0%		身体拘束の検討が必要なケースについては、支援や関わりの中でまず落ち着ける方法はないか等、会議にて協議しています。必要と判断された場合は個別支援計画にて保護者に説明、同意を頂く手順を踏んでいます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	・おやつ皿の色を変えるなどして間違いのないように工夫している ・アセスメントで保護者からの聴き取りに応じて職員に情報共有がされている	保護者からの聞き取りにより、対応しています。おやつの提供に当たってはダブルチェックを行い確認をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有していますか	100%	0%	0%		閲覧形式で情報共有を行っています。